

(令和2年5月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	5月の総入荷量は、中旬以降の曇雨天や前月の気温低下の影響等により、不安定な入荷となったため前年同月比で9%下回った。総取扱金額は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、家庭内需要は高かったものの、業務用需要の低迷により前年同月並みであった。 6月は、野菜では、賀茂なすや万願寺とうがらし等の近郷果菜類の入荷が増え、ゴーヤや冬瓜等の入荷が始まる。果実では、桜桃やすいか等の入荷が増え、桃、デラウェア等の入荷が始まる。 また、大きな天候の崩れはなく、平年並みの入荷が見込まれる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は10%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は15%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は11%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は10%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は18%上回った。
果 実	果実全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 かんきつ類の入荷量は天候不順の影響により前年同月比で27%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 りんご類の入荷量は前年同月比で43%下回り、単価は46%上回った。 いちご類の入荷量は前月の減少分が回復したため前年同月比で17%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は天候不順の影響により前年同月比で7%下回ったが、単価は業務用需要が低迷したため7%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	長崎，千葉，鹿児島を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で19％下回り，単価は15％上回った。
西洋にんじん	徳島を中心長崎，兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で10％下回り，単価は31％上回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城，大分を中心に熊本，岡山，鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で17％下回り，単価は111％上回った。
キャベツ	愛知，京都を中心に兵庫，鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9％下回り，単価は17％上回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に茨城，京都，滋賀，福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6％上回ったが，単価は上旬に需要が高まったため3％上回った。
レタス	長野を中心に山梨，兵庫，茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で12％上回り，単価は10％下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に滋賀，高知，福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4％下回り，単価は13％上回った。
なす	高知を中心に岡山，熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で19％下回り，単価は12％上回った。

とまと	熊本，福岡を中心に三重，京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で14%下回り，単価は10%上回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知，茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で5%下回り，単価は60%上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎を中心に北海道，熊本，鹿児島，静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が高かったため56%上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に北海道，長崎などからも入荷した。入荷量は需要低迷により数量が抑えられたため前年同月比で18%下回ったが，単価は業務用需要が低迷したため18%下回った。
【その他野菜】	
生しいたけ	徳島を中心に三重，長崎，岡山，和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で3%下回り，単価は5%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	熊本，福岡，和歌山，香川などから入荷した。入荷量は前年同月比で２１％下回り，単価は１２％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で５２％下回り，単価は５３％上回った。
いちご	福岡，大分を中心に佐賀，熊本，愛媛などからも入荷した。入荷量は前月の減少分が回復したため前年同月比で１７％上回ったが，単価は前年同月並みであった。
アールスメロン	静岡，熊本，高知から入荷した。入荷量は天候不順の影響により前年同月比で３３％下回ったが，単価は業務用需要が低迷したため１７％下回った。
アンデスメロン	熊本，茨城から入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
大玉すいか	熊本を中心に長崎，鳥取などから入荷した。入荷量は気温上昇により生育が早まったため前年同月比で１０％上回ったが，単価は前年同月並みであった。